



第 88 期 報 告 書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

Sensor Innovation
北陸電気工業株式会社



株主の皆様へ

株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は2022年3月31日をもって第88期を終了いたしましたので、当社グループの

営業の概要ならびに決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度の概況

当連結会計年度の世界経済は、新型コロナウイルスのワクチン普及および大型経済対策により欧米では個人消費等が持ち直しに向かいましたが、変異株の感染拡大による供給面での制約が重しとなり、全体としては緩やかな回復となりました。

わが国におきましては、輸出や設備投資の持ち直しが見え始めたものの、変異株の感染が夏および冬に拡大したことなどから、景況は総じて停滞基調となりました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、中国、米国を中心とした自動車販売の回復や巣ごもり需要を背景に、電子機器生産および電子部品需要は好調な推移となりました。

こうした状況のなかで、当社グループ（当社および連結子会社）におきましては、付加価値率の高い新分野への拡販を図る一方、生産効率の改善を進めました。

その結果、当連結会計年度の業績は、自動車向けを主体に受注が回復基調で推移したことから、売上高40,448百万円（前期比+23.2%）、営業利益2,075百万円（同+262.5%）、経常利益2,548百万円（同+288.7%）、親会社株主に帰属する当期純利益1,949百万円（同+335.5%）となりました。

財政状態

（資産、負債および純資産の状況）

当連結会計年度末は前連結会計年度末に比べ、受注増による生産水準の上昇に伴い、売上債権、棚卸資産、仕入債務がそれぞれ増加したことから、総資産は5,266百万円増加し、負債は2,603百万円増加しました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,663百万円増加し、15,950百万円となりました。

うち、株主資本は、親会社株主に帰属する当期純利益により1,949百万円増加しましたが、剰余金の配当により251百万円減少したことなどから、1,715百万円の増加となりました。

また、その他の包括利益累計額は、アジア通貨高円安による為替換算調整勘定の増加を主因に、948百万円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,444百万円減少し、5,404百万円となりました。

営業活動の結果使用した資金は909百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益2,501百万円、減価償却費1,069百万円に対し、売上債権が2,402百万円、棚卸資産が2,712百万円、仕入債務が1,360百万円それぞれ増加したことが主因であります。

投資活動の結果使用した資金は1,064百万円となりました。これは、固定資産の取得による支出1,153百万円などによるものであります。

財務活動の結果得られた資金は23百万円となりました。これは、借入金の純増537百万円、配当金の支払い251百万円などによるものであります。

次 期 の 見 通 し

世界経済は回復傾向にあるものの、地政学的リスクの高まり、インフレの加速、中国における都市封鎖など、先行き不透明な状況が続いております。

エレクトロニクス市場におきましては、資源価格の高騰に伴う原材料価格の上昇が懸念されますが、電子部品需要は拡大方向にあり、当社といたしましては、自動車の電子化、機器の高機能化、IoTなどの技術革新が進む市場の変化に対応した取り組みに努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 多 田 守 男



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 (2022年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資 産 の 部)	
流動資産	27,858
現金及び預金	7,006
受取手形及び売掛金	11,065
商品及び製品	1,599
仕掛品	3,250
原材料及び貯蔵品	3,068
その他	1,886
貸倒引当金	△17
固定資産	13,100
有形固定資産	8,806
建物及び構築物	2,505
機械装置及び運搬具	3,191
土地	2,847
その他	261
無形固定資産	482
投資その他の資産	3,811
投資有価証券	1,096
繰延税金資産	1,528
その他	1,222
貸倒引当金	△36
資 産 合 計	40,959

科 目	金 額
(負 債 の 部)	
流動負債	14,827
支払手形及び買掛金	7,491
短期借入金	4,617
未払法人税等	715
賞与引当金	458
その他	1,544
固定負債	10,181
長期借入金	5,186
リース債務	171
繰延税金負債	4
再評価に係る繰延税金負債	318
退職給付に係る負債	4,435
その他	64
負債合計	25,008
(純 資 産 の 部)	
株主資本	14,611
資本金	5,200
資本剰余金	5,039
利益剰余金	5,533
自己株式	△1,160
その他の包括利益累計額	1,338
その他有価証券評価差額金	87
土地再評価差額金	665
為替換算調整勘定	706
退職給付に係る調整累計額	△120
純資産合計	15,950
負債・純資産合計	40,959

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	40,448
売上原価	33,486
売上総利益	6,961
販売費及び一般管理費	4,885
営業利益	2,075
営業外収益	612
受取利息及び受取配当金	68
為替差益	392
その他	151
営業外費用	140
支払利息	54
その他	86
経常利益	2,548
特別利益	73
固定資産売却益	0
保険解約返戻金	47
受取保険金	14
その他	10
特別損失	120
固定資産売却損	7
固定資産除却損	68
保険解約損	31
その他	12
税金等調整前当期純利益	2,501
法人税、住民税及び事業税	708
法人税等調整額	△155
当期純利益	1,949
親会社株主に帰属する当期純利益	1,949

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：百万円)

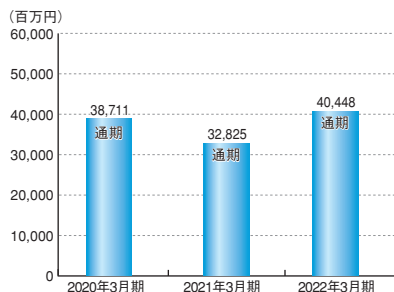
科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	2,501
減価償却費	1,069
売上債権の増加額	△2,402
棚卸資産の増加額	△2,712
仕入債務の増加額	1,360
その他	△726
営業活動によるキャッシュ・フロー	△909
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△1,153
その他	89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増額	1,000
長期借入金の純減額	△462
自己株式の取得による支出	△2
配当金の支払額	△251
その他	△260
財務活動によるキャッシュ・フロー	23
現金及び現金同等物に係る換算差額	505
現金及び現金同等物の減少額	△1,444
現金及び現金同等物の期首残高	6,849
現金及び現金同等物の期末残高	5,404

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

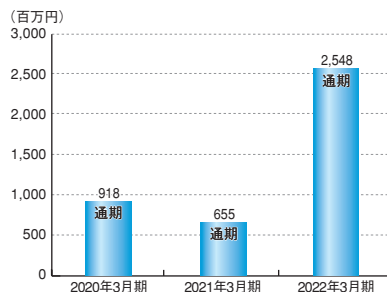


連結決算ハイライト

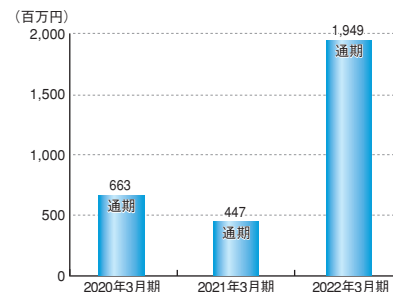
売上高



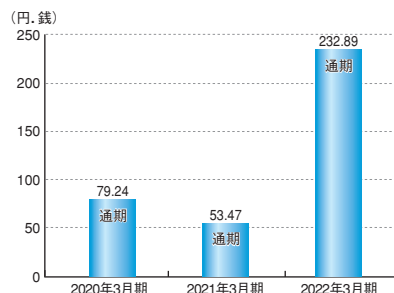
経常利益



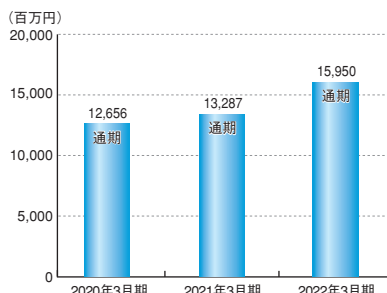
親会社株主に帰属する当期純利益



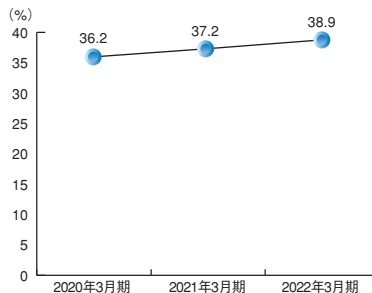
1株当たり当期純利益



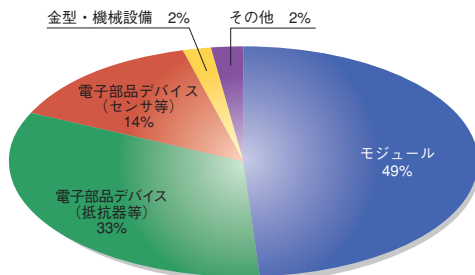
純資産額



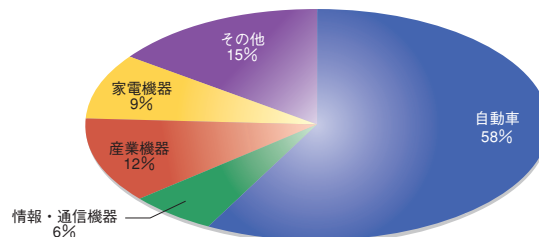
自己資本比率



2021年度 製品別売上高構成比



2021年度 市場別売上高構成比



会社の概況 (2022年3月31日現在)

報告書 Hokuriku Electric Industry Co., Ltd.

株式の状況

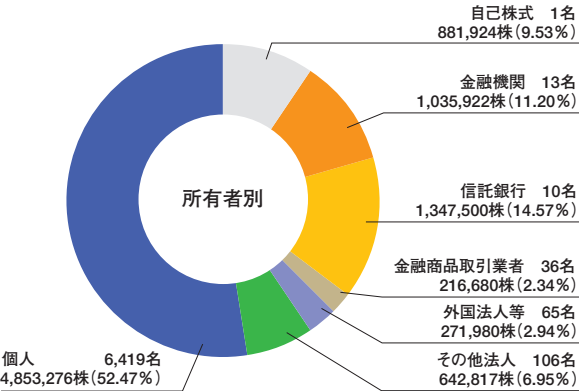
発行可能株式総数 25,000,000株
発行済株式の総数 9,250,099株
株主数 6,650名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	941 千株
北電工取引先持株会	412
北電工従業員持株会	352
株式会社 北陸銀行	331
株式会社 日本カストディ銀行(信託口)	263
株式会社 北國銀行	218
成川武彦	185
前田建設工業株式会社	164
株式会社 富山銀行	139
コーセル株式会社	112

(注) 1. 当社は自己株式881千株を所有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 株式数は、千株未満を切捨てて表示しております。

所有者別分布状況



会社概要

社名	北陸電気工業株式会社
英文社名	HOKURIKU ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD.
所在地	〒939-2292 富山県富山市下大久保3158番地
T E L	076-467-1111
F A X	076-468-1508
U R L	https://www.hdk.co.jp/
設立	1943年(昭和18年)4月4日
資本金	5,200百万円
事業内容	固定・可変・チップ等各種抵抗器、圧力・加速度・湿度等各種センサ、モジュール製品、ペーストスルーホール基板等各種電子部品の開発・製造・販売、その他の事業

取締役および監査等委員である取締役 (2022年6月29日現在)

代表取締役社長	多田守男
専務取締役	谷川聡
常務取締役	下坂立正
取締役	高田裕弘
取締役	西村裕司
取締役	村上吉憲
取締役常勤監査等委員	山下進
取締役監査等委員	北之園雅章
取締役監査等委員	菊島聡史
取締役監査等委員	井村一明

(注) 北之園雅章氏、菊島聡史氏および井村一明氏は社外取締役であります。



製品紹介

IoT関連商品



ヤマシスト
YAMAssist

双方向通信の登山者位置検知システム
ヤマシストYAMAssist
ヤマシストシステムは、スマホ圏外でも
①助けを呼べる②登山者を捜せるシステムです。端末同士で定型文のやり取りも可能です。大きさは104×69×26mm、重量196gと手ごろなサイズであり、最長7日の長時間使用も可能です。



SRPCシリーズ
(ソーラー無線ソリューション)

太陽電池+無線ネットワーク+センサーをワンパッケージにしたSRPCシリーズ。電源不要であり、しかも約1kgと軽量です。



920MHz帯特定小電力無線モジュール

特定小電力規格(ARIB STD-T108)に準拠した機器組み用の920MHz帯特定小電力無線モジュールです。

各種センサ群

車載用やIoT機器を中心として幅広い用途に使用されています。

【電流センサ】



小型電流センサ

小型低背で、低消費電流の電流センサを開発しました。取付け易いクリップ構造で、既存設備にも後付け可能です。太陽光発電のストリング監視システム等各種電流計測に最適です。

【自動車用センサ】



自動車用センサ

自動車用センサは、高精度であることに加えて厳しい環境変化にも十分機能することが求められる。当社は、これらのニーズに対応した各種自動車用センサをラインナップしております。

【フォースセンサ】



小型フォースセンサ(0~10N検知タイプ)



超小型フォースセンサ(0~5N検知タイプ)

小型・薄型で10N以下の微小荷重検知が可能なセンサです。小型低背、更に出力がリニアで使いやすく、荷重の微小変化や強弱が検知できるため、調理家電やスタイラスペン等各種アプリケーションに対応可能です。

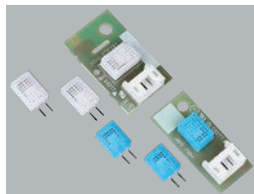
【圧力センサ・圧力センサモジュール】



圧力センサ・圧力センサモジュール

ピエゾ抵抗式の半導体圧力センサです。センサ単体の他、水位検知、ガス圧検知等の各種圧力センサモジュールをラインナップしています。中でも水位センサモジュールは、ミリメートル単位の検知が可能で非常に高精度であり、またアナログ出力、デジタル出力タイプを取り揃えており、更に取り付けタイプも基板取付けタイプ、フランジねじ取付けタイプを用意し、洗濯機や食器洗い機、エコキュート等各種水位センシングのニーズに対応しています。

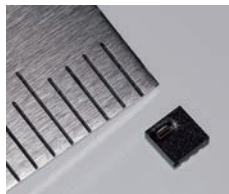
【抵抗式湿度センサ】



抵抗式湿度センサ

快適な生活空間に欠かせない湿度センサ。当社の抵抗式湿度センサは、1986年よりエアコンや除湿機、事務用機、更には自動車等各種用途向けに幅広く使用されており、高い実績と信頼性を誇っています。

【容量式湿度センサ】

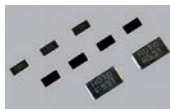


容量式湿度センサ

以前から実績のある抵抗式湿度センサに加え、新たに2mm角と超小型サイズの容量式湿度センサをラインナップに加えました。抵抗式では計測が困難であった0%RH~100%RHの広範囲の計測が可能です。更に応答時間が世界最速(既存品の10秒程度から1秒以内まで応答性を改善)である高速応答タイプ容量式湿度センサも開発しました。

■ 高付加価値チップ抵抗器

【金属板抵抗器】



金属板抵抗器

電流計測用のチップタイプの金属板抵抗器です。数mΩの超低抵抗まで製造可能です。

【耐アーク性チップヒューズ】



耐アーク性チップヒューズ

独自の素材、構造によって1608サイズの小型でありながら高定格電圧で強力なアーク抑制特性を実現した速断タイプのチップヒューズです。

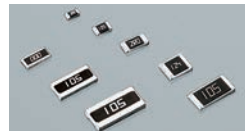
【耐サージ形高電力チップ抵抗器】



耐サージ形高電力チップ抵抗器

耐サージ形高電力チップ抵抗器製品に比べて定格電力が大きく車載用に最適です。

【JAXA認定チップ抵抗器】



高信頼性チップ抵抗器

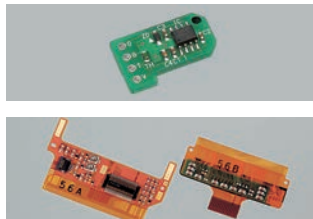
JAXA認定の宇宙用の高信頼性チップ抵抗器です。

■ 主要製品

【モジュール製品】



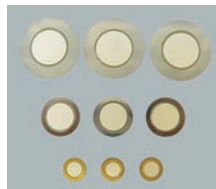
各種電子回路機能モジュール



実装モジュール

先端実装技術を駆使したモジュール製品。従来からの民生用液晶モジュールに加え、車載液晶モジュールや自動車用メーターパネル等の各種車載用モジュールを拡大するとともに、白物家電、ヘルスケア等各種分野へ幅広く展開しております。

【圧電部品】



圧電振動板



圧電サウンダー・スピーカー

独自の圧電材料技術、積層技術により生み出される圧電サウンダー、スピーカー、アクチュエーター等の圧電部品は、省エネで薄型であり、車載用や民生用に幅広い分野で使用されています。

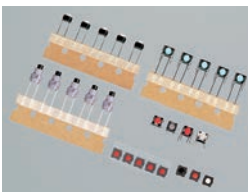
【各種チップ部品】



各種チップ部品

車載電装品、生活家電等の製品に欠かせない各種チップ部品。当社では0402サイズの超小型チップ抵抗器の他、チップネットワーク抵抗器、チップ半固定可変抵抗器、また電流検出用チップ低抵抗器、耐硫化チップ抵抗器、耐サージチップ抵抗器、高電力チップ抵抗器（長辺電極チップ抵抗器）等の高機能チップ抵抗器、チップヒューズ等各種チップ部品を取り揃えています。

【機構部品】



タクティールスイッチ

電向けの防水タイプも製品化しており、更に端子形状もリードタイプ・表面実装タイプをラインナップしております。

【ペーストスルーホール基板】



銀・銅ペーストスルーホール基板

ますます電子化が進展する自動車。当社のペーストスルーホール基板は、民生用電子機器の他、自動車のメーターパネル用としても使用されています。



HOKURIKUグローバルネットワーク



株式事務のご案内

□ 報告書

Hokuriku Electric Industry Co., Ltd.

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
一単元の株式の数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 受付時間 月～金 9:00～17:00（土・日・祝日を除く） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東証プライム市場
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.hdk.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

【お知らせ】

株券電子化によるご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
4. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ご 案 内

INFORMATION

記載の連結財務諸表等の詳細につきましては、当社のホームページのIR情報の決算情報にてご覧いただけます。



<https://www.hdk.co.jp/>



北陸電気工業株式会社

〒939-2292 富山県富山市下大久保3158番地 TEL.076-467-1111 FAX.076-468-1508
3158 Shimo-okubo, Toyama-City, Toyama Pref. 939-2292, JAPAN

